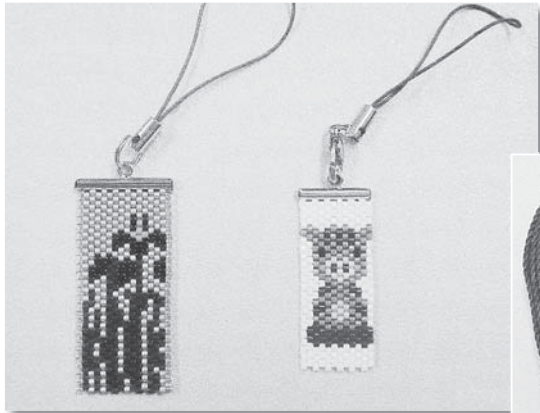


組合員の作品

手作り小物 ストラップとポシェット
みい支部 赤松 信子



いちご狩りを待つ「いちご」
成田西支部 南 貢

短歌

孫に云う思いはひとつ平和かな同じ言葉を幾度も云う

守口東支部 山城 久子

浪速より祈りを託し花筏無事に届けよみちのく沖へ

門真中央支部 兵頭 克己

店の客近藤さんと知ってよりコンドロイチンと密かに呼んでいる

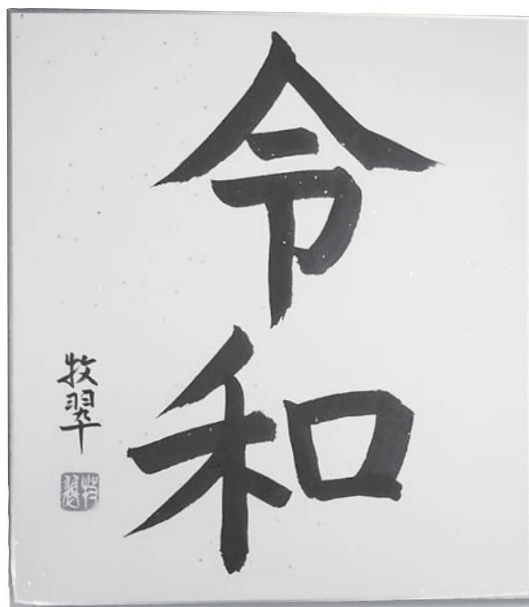
守口さつき南支部 酒井八重子

人間の賞味期限が切れたよに医者 of 言いたり老化ですから

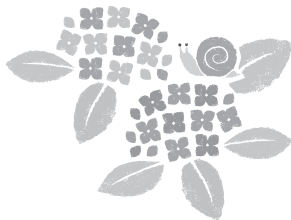
みい西支部 堀 正子

辞書になく万葉集にもない「令和」安倍氏のかかわり報ずる記事あり

あいあい支部 長野 晃



習字
みい東支部 佐々木静美



平和憲法を作った男 ①

映画「しではらーかどま出身の総理大臣を追う」



幣原喜重郎

た。東京帝国大学法科大学を卒業後、外交官や外務大臣などを歴任し、戦後すぐの第44代内閣総理大臣に就任しました。

1946年1月、GHQのマッカーサーと会談

「幣原」は何と読むの？とか「しではらきじゅつろう、って誰？」とよく聞かれます。門真に「松下幸之助歴史館」はあっても「幣原喜重郎記念館」はありません（歴史資料館に幣原コーナーはありますが）。私は日本、いや世界に大きな功績を残した幣原喜重郎は門真の誇るべき偉人だと考えています。

敗戦直後の混乱期において、我が国の進むべき道を模索するなか、幣原は50年近く歩んできた外交姿勢、すなわち国際協調を基本とした平和思想を生かして、戦争への反省と平和への願いをこめて新しい憲法制定に寄与しました。

2022年に幣原喜重郎の生誕150年を迎えます。その記念事業の一つとして、幣原喜重郎の半生を映像で表現する映画「しではらーかどま出身の総理大臣を追う」を製作しています。

映画製作にあたっては、けいはん医療生協にホールなどの使用で協力をいただいたしており、今後、連載で映画の内容等をお知らせしたいと思っております。映画の完成は年内を予定しています。

門真出身の総理大臣がいたこともあまり知られていない中、門真のみならず、大阪、全国、世界へ幣原の平和に対する思いを発信できればと思っています。



映画のリハーサル中



脚本・監督は門真市在住の齋藤勝さんで、最近の作品では、憲法九条の尊さを訴える「九条への生還」をYouTubeの動画に配信しています。映画ではプロデューサー 理事長 戸田伸夫